

編 集 後 記

私が APAA 会員となったきっかけは、1996 年の台北理事会に参加するためでした。以来、昨年の台北理事会まで全ての年大会に参加してきました。APAA との関わりは略四半世紀となり、その間には日本部会会長も務めさせて戴きましたが、私が経験として知っていることは、日本部会の歴史の半分に過ぎません。50 年史の編集を通して、日本部会の設立意義やこれまでの歩みを振り返る機会を得ることができました。

APAA 日本部会は、節目において、10 年史、20 年史、30 年史、40 年史を発行してきました。50 年史において詳細な五十年史表を掲載することができたのも、10 年史、20 年史、30 年史、40 年史に拠るところが大きく、過去の年史に携わった方々に感謝申し上げます。30 年史、40 年史では過去 10 年の活動内容が中心でしたが、50 年史では「日本部会の創立から今日に至るまで」というセクションを設けました。

APAA は 1969 年に日本、韓国、台湾の弁理士有志によって設立され、APAA 日本部会は翌年の 1970 年に設立されました。1969 年は日本が GNP で西ドイツを抜いて世界 2 位となった年です。諸先輩弁理士作成による APAA（アジア弁理士協会－仮称）結成に関する招聘状や APAA 日本部会設立趣意書を読むと、当時の日本経済及び知的財産を取り巻く状況の勢いやダイナミズムを感じ取ることができます。

2019 年 6 月には、APAA 設立 50 周年を記念して、APAA50 周年記念式典が東京で開催されました。50 年史に開催報告を掲載してあります。また、記念式典の準備、遂行に多大なご貢献のあった横内謙二理事がご逝去されたことは誠に残念であります。心よりご冥福をお祈りいたします。

2020 年 2 月には、APAA 日本部会設立 50 周年式典が予定されておりましたが、残念ながら、コロナ禍により直前の取りやめとなりました。この場を借りて、記念式典の準備に携わった樺澤聡委員長並びに委員の先生方の労をねぎらいたいと思います。

各委員会の委員長におかれましては、各委員会活動についてまとめて戴きありがとうございました。委員会活動報告は委員会活動の記録としての意義のみならず、日本部会会員への委員会活動の周知化にも役立つものと思います。

最後に、50 年史の編集を始めようとしていた矢先にコロナ禍となり、編集会議を十分に行うのが困難な状況の中での発行となりました。不行き届きな点がありましたら、ひとえに編集委員長である私の不徳の致すところですので、何卒ご容赦戴きたく思います。

APAA 日本部会 50 年史編集委員会
委員長 稲葉 滋